

平成 29 年度墨田区立業平小学校 経営計画書

校長名 瀬戸 英一

学校目標	独学自修
目指す学校像	子どもの学びを大切にして、確かな学力を育てる学校 歴史と新しさが共存する学校 教職員が協働の姿勢で、組織的に指導・実践する学校 保護者・地域との連携を大切にする学校
目指す子供像	・進んで学ぶ子 ・優しい子 ・元気な子
目指す教師像	教育に対する熱意と使命感をもつ教師 豊かな人間性と思いやりのある教師 子ども一人ひとりの良さや可能性を引き出す教師 責任感と協調性を有し、互いに高めあう教師

項目	取組の視点	取組指標	成果指標
各教科指導等	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業の実施等	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本を重点とした授業改善を進め、定着を確実なものにする。(東京ベーシックドリル活用し、前後期2回の振り返りに利用する) ICT機器を活用した授業を実施児童の理解を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> D層の児童数が全体の10%以内 ICT校内研修会を年3回実施し。
	特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等	<ul style="list-style-type: none"> 授業時の取り出し指導と放課後習教室を実施する。 校内委員会を開催し、学年ごとに児童理解を行い、共通理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り出し指導は随時行い、放課後学習は週3回全学年を対象に行う。 校内委員会は毎月学年ごとに行う。
	社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等	<ul style="list-style-type: none"> 外部人材を活用し、社会で役立つという意識を育成する。 人間関係形成能力・情報活用能力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳や総合の指導計画の中に適切に位置付け、学期2回は全学年で実施する。
	教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等	<ul style="list-style-type: none"> 英語活動を中心とした国際理解教育の推進。 指導教諭の模範授業を活用した校内研修会の実施。 若手教員を対象とした「業平ゼミナール」を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年7回の授業研修を実施する。 指導教諭の校内伝達講習だけではなく、道場リーダーや英語リーダーの伝達講習も2回ずつ実施する。 業平ゼミナールは月1~2回実施する。
生活指導等	オリンピック・パラリンピック教育の推進とアクティブライフ研究実践校として健康教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 英語活動専門の教員を2名配置する。 コーディネーショントレーニングを導入し体力向上を図る。 健康3原則に係わる保健指導を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> グローバルマナーの定着度80%に。 3・4年生は24時間、5・6年生は60時間英語活動を実施する。 持久力、跳躍力の10%アップと体幹の強化。 生活活動量の10%アップ。
	問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導朝会、生活指導研修会の充実を図る。 いじめ防止公開授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全教員が対象児童の理解度90% 年3回実施する。
生活指導等	基本的な生活・社会習慣、人間関係作りのための心の教育等	<ul style="list-style-type: none"> 業平ルールの定着を図る。 道徳授業地区公開講座の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の定着率80%。 人権意識の向上20%アップ

様式 2

	安全を確保するための取組等	<ul style="list-style-type: none"> 校舎内外の環境を整備する。 安全教育について保護者への理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 年 3 回、施設設備の安全点検を実施。 学校安全計画を作成し、各教科・道徳等で実施する。
	子供や保護者からの意見や要望への対応等	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事毎のアンケートの実施 保護者会、個人面談の内容を工夫し、充実した話し合いができる会にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価での肯定的な評価 85 % 以上
学校の管理運営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> 4 級職 4 名を中心に組織の機動性を最優先した運営組織を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理職～教務・養護主幹～指導教諭～主任という流れで課題への迅速な対応を行う。
	子供の実態に合わせた教育目標設定及び評価等	<ul style="list-style-type: none"> 「進んで学ぶ子」を重点目標とし、その定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで学習に取り組む児童、各クラス 85 %
	教育環境・設備等の整備状況等	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理（特に不審者やアレルギーによるアナフィラキシー対応）のため、インターフォンを設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各階に最低 1 台。可能なら各教室に設置する。
家庭・地域連携	教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等	<ul style="list-style-type: none"> HP や学校・学年・学級だよりでの情報発信を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> HP は 2 週間ごとに更新する。 校長室だよりは年間 30 号以上。
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動の推進等	<ul style="list-style-type: none"> PTA 行事への職員の参加と協力。 GT や図書 V の授業協力を推進。 	<ul style="list-style-type: none"> PTA 行事参加率 85% 超。 各学年学期 2 回実施。

※ 表については、必要に応じて 2 ページ以上にわたるように加工する。